



8チームで熱戦を展開(9月9日)

町教育委員会などの主催による「第29回町民ソフトボール大会」が町首湖畔野球場と山村広場を会場に行われ、地域や職場などで編成された8チーム(103名)が参加して、さわやかな秋晴れの下で熱戦を繰り広げました。

試合は、好プレーや珍プレーが随所に見られ、手に汗にぎる接戦が多く、3位決定戦では逆転サヨナラ満塁ホームランが飛び出すなど、大いに盛り上がりました。

競技の結果、優勝は「ゴールドラッシュ」(金山)、準優勝は「はたけ」(幾寅)、第3位は「しもきんふぁいたーず」となりました。



老人クラブを対象に防犯・交通安全教室

町防犯協会と町交通安全協会では、各地区老人クラブを対象に、防犯と交通安全の意識啓発を目的として、毎年防犯教室と交通安全教室を実施しています。

今年は、9月5日から9月13日までの期間に町内各地区の老人憩いの家などにおいて、町内各駐在所長を講師として行われ、外出時の防犯対策や訪問販売への対処方法、オートマチック車運転時の注意などについて講話を受けていました。



ご当地グルメを作ろう(9月7日)

町商工会(曾慶一介会長)と町商工会青年部(安西英紀部長)では、「食と観光」をテーマとして新たなまちおこしをしようとのことから、リクルート北海道「じゃらん」のヒロ中田編集長と対談し、ヒロ中田編集長が手がけている「ご当地グルメ」を南富良野においても取り組めないかとの検討が行われ、町内で栽培された野菜や鹿肉を使った料理で「ご当地グルメ」づくりを手がけることとなり、町内の商工会員各店から協力が得られた9店が参加して、情報プラザにおいて試作料理の試食会と意見交換会が行われました。

この中で、ヒロ中田編集長から、「ご当地グルメ」やその作り方について説明を受けた後、各協力店が出品した、鹿肉を使用したハンバーグカレーや鹿肉のカツカレーなどを試食して意見交換を行い、エゾ鹿肉の料理では、肉の臭いや堅さなどが気にならない「カツレツ」が好まれることと、富良野市のオムカレーや美瑛町のカレーうどんのように、富良野・美瑛広域観光の一環としてカレーで取り組んだ方がよいのではないかとの結論から、エゾ鹿肉と地元産の野菜を使用した「蝦夷カツカレー」が「ご当地グルメ」として決定され、協議会として「南富良野蝦夷カツカレー推進協議会」を立ち上げ、今後参加各店が連携しながら、来年4月の発表に向けて「蝦夷カツカレー」づくりに取り組むことになりました。

中学3年生が 南富良野高校に体験入学(9月6日)

来春に高校進学を控えた中学3年生に、南富良野高校の魅力を紹介しようと、同校で体験入学が行われ、南富良野中学校をはじめ富良野沿線市町村の生徒55名が参加して、高校生活を体験しました。

学校紹介では、学習上の特徴である習熟度別学習や類型選択授業についての説明や、学校生活と部活動についてスライドにより紹介が行われました。また、南富高で実施している国際交流事業について、本年度参加した生徒からの発表もあり、参加した中学生は熱心に話を聞いていました。この後の体験授業では、音楽や情報処理など4教科が行われ、少々緊張ぎみの中学生の皆さんは、真剣な眼差しで先生の話しに耳を傾け、与えられた課題に取り組んでいました。



子ども達が元気に グラウンドを駆け回る(9月2日)

町子ども会育成連絡協議会(寺口悟会長)が主催する「第8回スポーツ交流会」が山村広場で行われ、子ども会に所属する小中学生60名が参加して、小学生の部と混成の部に分かれ、キックベースボールで交流を深めました。

この日は、肌寒い天候の中で行われましたが、参加した子ども達は力いっぱいボールを蹴り上げ、元気にグラウンドを駆け回っていました。

競技の結果、小学校の部では北落合・落合地区の子ども達で編成した「BEST」チーム、混成の部では幾寅朝日町の子供達を中心に編成された「ぼっぼ屋」チームがそれぞれ優勝しました。



ワーストワン返上へ パトライト作戦を展開(9月5日)

北海道内の交通死亡事故がお盆期間中に多発し、8月14日には年間累計死者数が160人で「全国ワーストワン」となり、極めて深刻な事態となっています。今後の交通死亡事故に歯止めをかけるため、北海道知事および道警本部長の連名で緊急メッセージが出され、本町交通安全協会(渡邊龍幸会長)においても各種運動を進めているところですが、未だに減少傾向が見られない状況にあることから、9月5日に、上川管内市町村一斉パトライト作戦が実施されました。

本町では、幾寅地区の国道38号線沿いの2箇所において、交通安全協会員らが車にパトライトを取り付け、通過車両に対して安全運転を呼びかけました。



カメラレポート CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(52-2115)までお知らせください。



互いの発表を通して親睦を深める (8月30日)
富良野市のことぶき大学の学生84名が来町し、千里大学の学習交流会がみたくるで行われました。
交流学習では、両大学の活動概要について説明された後、芸能交流として千里大学のカラオケや舞踊、ことぶき大学の生徒からは、詩吟や太極拳が披露されたほか、両校の校歌が斉唱され、お互いの発表を通して親睦を深めていきました。午後からは、スポーツ交流としてパークゴルフが行われたほか、ぼっぼ屋や口ケ地や串内牧場など町内の施設見学も行われました。